

「さくら校舎」が完成しました

さくら校舎(東中野仮設校舎)がいよいよ完成し、10月1日に引渡しを受けました。移転まであと6か月を切りました。さくら校舎に引越すための準備と今の校舎とのお別れに当たっての取り組みの状況を少し御紹介します。

10月1日(都民の日)は学校休業日だったので、新しい校舎での学校生活をあらかじめイメージしたり、スムーズに引越したりできるようにするため、引き渡しを受けたばかりの新校舎に多くの先生たちが見学に行ってきました。さくら校舎は、すぐ横を神田川が流れ、本校と神田川との浅からぬ縁を感じさせます。中に入ると、新しい建物の香りがします。何も置いていない教室は広々と感じます。新校舎は、仮設とは言え新しい設備なので、快適に過ごせそうです。



見学のため新校舎の1階ロビーに集まった先生たちは、遠足のときの子供たちのようににぎやかでした。

さくら校舎へは、今の校舎で使っている机や椅子、備品など多くのものを持っていきます。(新校舎は、今の校舎が改築されるまでの間の仮の校舎なので、残念ながら今回の移転で机や椅子などまで新しくなるわけではないのです。)先生たちはこの夏休み期間中に、各教室にあるものすべてについて、持っていくものと捨てるものの仕分けをして、引越しの準備をしました。



子供たちは、近隣の皆さんにここ南台の地で47年間お世話になった感謝の気持ちを伝えるための垂れ幕を制作しました。小中高全学部の子供たちが協力し合って作った作品です。垂れ幕には、感謝の言葉に加えて、子供たち一人ひとりが描いた自画像を貼り付けました。出来上がった垂れ幕は、つつじ館の方南通りに面した窓に掲示しました。ぜひ子供たちの顔(自画像)を見付けに来てください。

子供たちは、近隣の皆さんにここ南台の地で47年間お世話になった感謝の気持ちを伝えるための垂れ幕を制作しました。小中高全学部の子供たちが協力し合って作った作品です。垂れ幕には、感謝の言葉に加えて、



さくら校舎への移転、ワクワクが高まってきましたね。

(副校長支援員 笹原 茂男)